



聴きます その声 伝えます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。市政報告をお送りいたします。

名張版ネウボラ(出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援)は全国版テレビでも放映され、有名な事業となっております。先日も、関東に住む知人から、名張版ネウボラのことが『地域保健』という雑誌に載っていたよと教えていただき、誇らしく思いました。また、千葉県に住むある議員の方と情報交換をした中で、「送迎保育ステーションなら、横浜市よりも千葉県流山市の方がうまくいっていて参考になると思うよ。」とアドバイスをいただき、先月、会派視察で流山市の送迎保育ステーションに行っていました。

視察当日、偶然、NHKの撮影クルーと一緒にになり、撮影の様子を見守らせていただきました。後日、NHKの午前8時15分からの『あさイチ』という番組で流山市特集が放映されました。キャッチコピーが『母になるなら流山』というだけあって、活気のあるまちでした。

いろんな地域の先進的な情報を集めることも、私達、市議会議員の仕事の1つとして、これからも心して取り組んでいきたいと思えます。



9月5日～10月5日開会
本会議・一般質問より

第372回定例会

地域と連携した保育・教育の充実について

●小中学校の規模・配置の適正化について

現状

小中学校の規模・配置の適正後期実施計画(案)が今年の2月7日に提案され、保護者や関係地域の方から大きな反響が出ています。説明会やまちかどトークも実施していますが、厳しい意見や反対意見が出ています。

Q. 今後、どのように進めていきますか?

A. 小学校統合に関しては、引き続き保護者や地域の方の意見を伺いながら時間をかけて丁寧に説明、協議し、現代を生きる子どもの学習環境を充実させていくために話し合いを進めていく。コミュニティスクールについては、今後、学校教育を進めていく上で必要なこととして進めていく。

要望事項

保護者や地域の方の声をしっかり聞いていただき、その声が反映される計画を立てていただきたい。

●送迎保育ステーションについて

現状

9月現在で待機児童は111名。そのうち、0～2歳児が107名。3～5歳児が4名。各保育園の空き状況は、0～2歳児が全く無い一方、3～5歳児は67名の空きが有ります。

Q. 市としてどのような待機児童対策を取りますか?

A. 新規施設開設、既存施設の拡張、事業所内保育の定員増により、平成29年度には85名分の受け入れ枠を増やす予定。

要望事項

千葉県流山市では送迎保育ステーションを設け、保育所などの立地場所による利用者の偏りや兄弟を別々の保育所などに送迎する保護者の負担を軽くしている。名張市も保育園などを利用しやすい環境作りを検討していただきたい。

観光と物産の活性化について

●レンタサイクル事業について

現状

市は今年3月にレンタサイクル50台を購入したが、現在の配車状況は事業所4箇所に26台(松風カフェ10台、赤目四十八滝保勝会7台、山水園7台、長坂営農組合(赤目キャンプ場)2台)と市役所所有15台、貸与可能数9台となっている。

Q. レンタサイクルの利用状況と活用の為のモデルコース作りは予定していますか?

A. 利用された台数は延べ75台。初級者向けサイクリング体験ツアー(20～30km)を今年10月以降に計画し、年度内に実施する。



要望事項

利用者が使いやすいように、運営方法としてレンタカー方式(ステーション方式)を取り入れて、レンタサイクルを最大限、活用していただきたい。

●滝之原の農産物加工所の進捗状況

現状

平成27年度繰越予算として、地方創生加速化交付金事業「隠(なばり)の農産品を活用した起業・創業支援事業」で国から交付金を受けています。金額は、2,300万円。国の全額補助。

Q. 平成28年度中に事業が終了しますが、現在の進捗状況は?

A. 名張商工会議所、伊賀南部農業協同組合、三重県伊賀地域農業改良普及センター、名張市内の金融機関と名張市が構成する名張市農産品活用起業支援準備会が平成28年8月4日に立ち上がった。任期は平成29年3月31日まで。

要望事項

準備会は主に市場調査、商品開発、販路開拓、経営などの提案をするが、施設整備事業などは交付金の対象となる。調理室改修工事や消耗品購入も予定しています。早め早めに取り組んで、発展性のある事業にしていきたい。

観光と物産の活性化について

●広域観光連携推進事業(以下、DMO)について

現状 平成28年度補正予算による事業で、国の全額補助。

Q. DMOに参加する市町村は東大和西三重観光連盟に所属するほとんどの市町村。一方で参加しなかった市町村の理由は？

A. 参加する市町村は、宇陀市、曾爾村、御杖村、名張市。伊賀市と津市は趣旨に賛同いただけず不参加。



要望事項

東京オリンピック、とこわか国体も控えている中で、場所・物・人の魅力で国内外を問わず、たくさんの観光客を誘致できるように引き続きお願いいたします。

心身ともに健康な人づくり、医療との連携について

●救急時の市民の対応に関する啓発と広報について

現状 決算書の消防費、常備消防費の消耗品費のうち、配布している啓発物品の購入状況は、台所用ラップ、ティッシュペーパー、風船、シャボン玉、クレヨン(幼年消防)、定規等である。啓発内容は、防火に関するものである。

Q. 救急に関する啓発をどのように進めていますか？
また、ここ数年の講習などの参加者数は？

A. 市の広報やメディアを通じて救命講習などの案内を行い、参加していただいた方にはテキストを渡している。参加者数は、応急手当てなどの講習回数が大きく減ったこともあり、全体的には減少傾向にある。



要望事項

概ね応急手当などの技術は、地域の役員になって受講が必要となった方やプールの監視などで必要な知識を得なければならない方には、ある程度、伝わっていると感じます。高齢化社会を迎えて予想されるのは、いつ誰が救急車を呼ぶ現場に出会うか、またAEDを使用する場面に遭遇するか分からないということ。その時、知識や経験があることが、緊急時の対処などに大きく関わってくるのだと考えます。一人でも多くの方が気軽に救命講習やAED使用の経験を積んでいただけるような啓発活動を強く求めます。



足立よしえ市政報告会開催のお知らせ

- ◆11月23日(水・祝) 19:00~(開場18:30) 場所/梅が丘コミュニティー・プラザ「NAURAA(ナウラ)」
- ◆11月26日(土) 19:00~(開場18:30) 場所/南富貴が丘集会所
- ◆12月4日(日) 10:30~(開場10:00) 場所/つつじが丘市民センター
14:00~(開場13:30) 場所/美旗市民センター



皆様からのご意見、
ご要望を
お待ちしております。

足立よしえ

検索

発行：足立よしえ後援会・足立よしえ
住所：名張市つつじが丘北 5-83
メールアドレス：zucchan-eve@docomo.ne.jp
電話番号：090-7898-9453(足立直通)
：0595-68-3118(FAX 兼用)
ホームページ：http://www.adachiyoshie.jp